

平成 20 年 度 年 間 指 導 計 画

広島市立沼田高等学校

科目	家庭科「家庭基礎」	単位数	2	対象生徒	1 学年
目標	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				
評価方法	定期試験、提出物、授業態度を総合して評価する。				
使用教材	教科書：大修館書店 明日を拓く高校「家庭基礎」 資料集：第一学習社出版 「2008 生活ハンドブック」 資料&成分表 自主教材：授業用プリント				
学期	月	指導内容及びその編成			備考
1	4	家庭基礎を学ぶにあたって 人の一生と家族・福祉 ・人生を展望しよう ・家族・家庭と法律について			
	5	・自分の子ども時代について ・子どもの成長と発達 ・親になることを考えよう			
	6	・保育実習（玩具をつくろう！） ・高齢者の生活と福祉 ・高齢者疑似体験・介助体験をしよう			
	7	・これからの高齢社会			
	7~8	新聞コラム作成			
					期末考査 夏課題
2	8~9	食生活 ・食生活診断 ・体に必要な栄養と食品			
	9	・食品の衛生と安全 ・調理実習（9～10月に実施）			
	10	・これからの食生活（グループテーマ学習）			
	11	消費生活 ・家庭の経済生活 ・契約のしくみ・カード社会について			
	12	・悪徳商法のいろいろ ・消費者の権利と責任 ・環境に調和した生活			
		衣生活 ・被服とは ・表示と購入 ・被服材料とその性質			期末試験 冬課題
		新聞コラム作成			
3	1	衣生活 ・被服材料とその性質 ・被服の管理について ・被服実習			
	2	住生活 ・人と住居 ・ライフステージと住空間 ・健康で安全な住生活 ・これからの住生活			
	3	生活をつくる ・ライフスタイル・ライフコースの選択			
					学年末試験